



# かわじま

1992

# 11

No. 392

## 町制施行20周年記念特集号

### 祝 川島町制施行20周年 水道給水開始30周年 記念式典

#### 「川島郷歌」CD制作記念発表



記念式典で行われた「川島郷歌」のCD制作発表演奏

#### ●主な内容

- 町制施行20周年記念特集.....②-⑦
- ふるさとかわじま再発見コンテスト(入選作品紹介).....⑧-⑩
- 生涯学習コーナー.....⑫-⑬
- まちの話題・町民文芸.....⑭-⑮
- くらしの情報.....⑯-⑰
- けんこう.....⑱

12月の役場  
土曜閉庁日

12日・26日

11月1日の人口と世帯	
総人口	23,063人
前月との差	6人増
男	11,596人
女	11,467人
世帯数	5,923世帯
前月との差	5世帯増

## けんこう

### 乳幼児相談

とき 12月2日(水) 午前9時30分から11時まで

ところ 保健センター  
対象 生後1か月から小学校入学まで  
担当 保健婦

### 乳児健診

とき 12月14日(月) 午後1時30分から2時まで

ところ 保健センター  
対象 平成4年7月から8月生まれの子と前回受けられなかった子  
担当 医師・栄養士・保健婦

保健センター  
☎97-1811  
(内50)

### 腰痛予防教室

とき 12月4日(木) 午後1時30分から3時30分まで

ところ 保健センター  
内容 理学療法士による講義と実技(体操)

費用 無料  
持参品 健康手帳、筆記用具、体操のできる服装

※事前の申し込みは必要ありません。受講を希望されるかたは、当日、保健センターへお越しください。

### 百日咳・ジフテリア・破傷風予防接種(第1期2回)日程

実施日	時間	会場
12月7日(月)・11日(金)・15日(火)	午後1時30分から2時まで	保健センター

該当者 平成元年11月1日から平成2年10月31日までに生まれた子  
2歳以上4歳未満でまだ受けていない子

受けられない子 ①三種混合・日本脳炎・インフルエンザ予防接種後2週間未満の子  
②はしか・水ぼうそう・おたふく・風しんにかかり、治って1か月未満の子、または予防接種後1か月未満の子  
③ひきつけをおこして1年未満の子

当日は、母子手帳、問診票を持参してください。なお、1・2月にも実施しますので、11月に受けられなかった子は、通知票を持って12月から受けてください。  
(第1期1回接種後3週間から8週間の間隔で3回受けてください。)

今月号は、町制施行二十周年記念特集号としてオールカラーでお届けしましたが、いかがだったでしょうか。いつもの一色刷りに比べ、印刷工程で十日ほど日数が余計にかかるとあって、時間のやりくりが四苦八苦。ようやくこの編集室までたどり着きました。

どんな仕上がりになるのか、今はとても心配ですが、念すべき特集号に携わることができて、とても幸せ(?)な気分です。

### 編集室

お子さんの写真を募集しています。簡単なコメントを添えて、秘書広報係へ。

# 元気です



深谷祐太くん(3歳7か月)

#### 下小見野

深谷英夫さん・ゆかりさんの長男

「近所の友だちと、近くの公園で遊ぶのが大好き。とにかく元気で、家の中を走り回っておじいちゃんにしかられることもあります。でも、このごろは畑の野菜に水をくれたりして、おばあちゃんのお手伝いもしてくれるんですよ。」

### 保健婦だより



#### 赤ちゃんのしゃっくり

赤ちゃんのしゃっくりにはいろいろな原因があります。たとえば、ミルクをゴクゴク飲んで、食道や胃が急に刺激されたり、おむつがぬれて腰のあたりが冷たくなったりなど、ちょっとした刺激に敏感に反応して起こります。しゃっくりをしたら、おむつを確かめ、ミルクを飲んだ後なら背中をさすり、体を暖かくして静かに抱っこしてあげてください。また、授乳中ならいったん授乳をやめ、静かに背中をさすってあげて様子を見ましょう。

赤ちゃんは、しゃっくりをしやすいためです。頻繁にしゃっくりをしても、別に異常ではありません。



祝 水道給水開始30周年 記念式典



琴による祝演奏

記念式典会場



川島郷歌、CD制作記念発表

# 川島町 20周年



## 町制施行20周年を祝い

### 記念式典を盛大に開催

町制施行二十周年及び水道給水開始三十周年を祝う記念式典が十一月四日、町内外から多くの来賓をお迎えし、広域福祉会館で盛大に開催されました。式典では、二十周年を記念した「生涯学習推進のまち」宣言が行われ、町長から高らかに宣言文が朗読されました。この宣言は、町が積極的に推進している生涯学習をさらに充実・発展させようという行われたもので、県内では、八潮市に次い

で二番目となります。また、この日会場には、町のために多大な貢献をされた四十人のかたがたも招待され、その功績をたたえて表彰も行われました。式典を祝って行われた記念演奏では、藤間歌邦さんら四人による琴の祝演奏や、県警音楽隊と四十人の川島中生徒による「川島郷歌」のCD制作発表演奏などが行われ、式典の雰囲気一段と盛り上げました。

わたしたちのまち川島は、昭和四十七年十一月三日に町制を施行し、今年で二十周年を迎えました。この二十年の間に、町の姿も大きく変わってきています。今月号では、町制施行二十周年記念特集として、記念式典や皆さんの声、町の歩みについてお伝えします。

## 町制施行20周年を迎えて

川島町は、昭和四十七年十一月三日に町制を施行し、ここに満二十年を迎えました。本町は、都心から四十五キロ圏内という立地条件に恵まれているため、純農村からしだいに都市化の様相を呈してまいり、当時の一万五千余の人口も、現在では二万三千人を超え、緑豊かな田園都市を目指して力強く歩んでおります。

この間には、国道二五四号バイパスの開通や公共下水道の供用開始などの生活基盤整備をはじめ、図書館、学校給食センターなどの教育施設整備、県内初のデイサービスを併設した老人福祉センター「やすらぎの郷」の建設や、川島工業団地整備などの事業が、「うらおいと活力のあるまち」に向けて着々と進められてまいりました。

今日の川島町を築いてこられたのは、先人の英知とたゆまぬ努力、また、関係各方面並びに町民の皆様のご支援ご協力のためであり、心から敬意と感謝を申し上げます。川島町を取り巻く状況は、圏央道川



川島町長 山口泰正

島インターチェンジの設置等により、今後、大きく変わろうとしています。このため、インター周辺の秩序ある開発に向けたインターシテイプランをはじめ、平成の森公園整備や総合運動公園計画、また、「まちづくりはひとつから」の理念を基に二十周年を記念して宣言いたしました「生涯学習推進のまち」など、快適で潤いのあるまちづくりを目指し最大限の努力を傾注してまいります。今後、町民皆様の一層のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

## まちづくりの功績をたたえ

### 40人のかたがたを表彰

町制施行二十周年記念式典で、町に多大な貢献をされた四十人のかたがたが、町表彰条例に基づき表彰されました。

表彰されたかたがたは、次のとおりです。  
(敬称略)

### 功労表彰

各職において規定の年数を勤務し、町に多大な貢献をされたかた

- 矢部泰夫、国島茂男、島村新吉、大澤幸夫、笛木福一郎、利根川佐太郎、故・加島兼雄(以上、町議会議員)柴謙一(町収入役・職員)宇津木忠征(町消防団長・団員)山口昌毅、遠山武司、関常夫、田中富雄、急式米子、山田芳子、矢部恒子、小峰きみ子、丸山トキ、渋谷和子、関久子、澤田しげ、吉澤貴代子、小西宮子、



高田俊子、石川里枝、村田とみ子(以上、町職員)

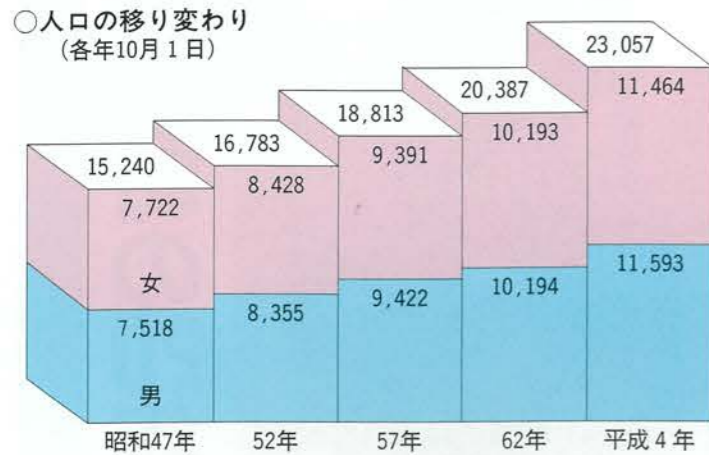
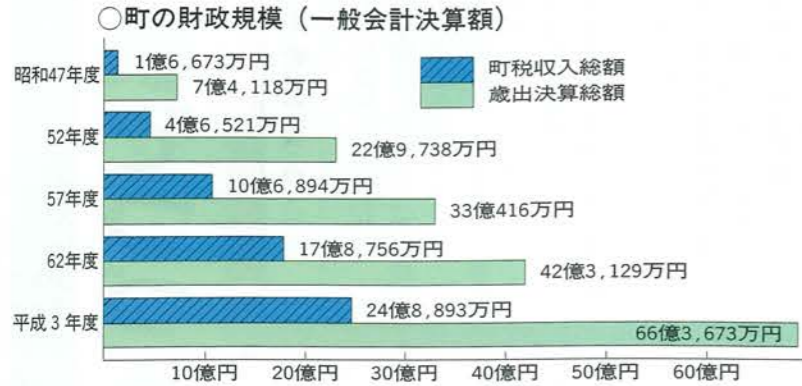
### 善行表彰

多額の金品の寄附や、他の模範となる善行のあったかた

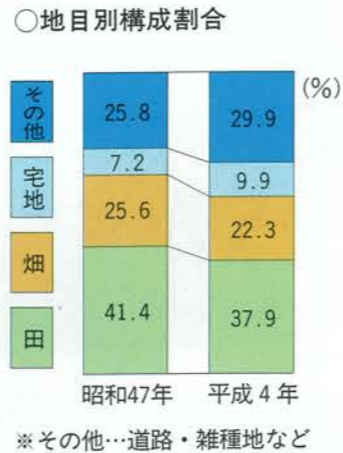
- 飯野武久、島村治作、飯野清二、山口泰明、川島ライオンズクラブ(以上、金品の寄附)志村紘一、松崎陸次郎(以上、人命救助)間下才兵、宇津木恵美子、田神フミ子、石黒尹、遠山勝子、猪鼻縁、小林ヤチ子(以上、環境美化)

グラフで見る

# 川島町20年の歩み



川島町が産声をあげたのが昭和四十七年。この二十年の間には、町の表情もだいぶ変わってきています。人口や財政規模、地目別の割合について当時と現在を比較し、グラフにまとめてみました。



## 生涯学習推進のまち宣言

わたくしたち川島町民は  
生涯にわたり健康で楽しく学び合い  
思いやりと心のぎずなを大切にし  
仲良く助け合う家庭をつくり  
明るく心豊かな人生が送れる  
ふるさと文化の香るまち「かわじま」の実現  
をめざします

町制20周年にあたり  
「生涯学習推進のまち」とすることを宣言します  
平成4年11月3日

川島町

国際化・高齢化などの急激な社会の変化に伴い、わたしたちには日常生活に必要な、継続的な学習を取り入れた生き方が求められています。いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習社会をつくるためには、まちぐるみで取り組んでいかなければなりません。そのため町では、町制施行二十周年を記念して、「生涯学習推進のまち」を宣言しました。

# 「生涯学習推進のまち」を宣言



## インタビュー

恵まれた自然を残したい



伊草内田 敦子さん

今年、成人式を迎えたばかりのわたしにとっては、川島町の歩みがそのまま自分の成長に重なるような気がして、とても感慨深いですね。

これから町は、ますます発展していくでしょうが、恵まれた自然はいつまでも残してほしいと思います。

人情味あふれるまち



東大塚 小林 策衛さん

川島で生まれて七十六年。町もずいぶん発展し、住みやすくなりました。

最近、人と人とのつながりが薄くなったと言われていますが、まだまだ川島には人情があふれています。町の姿は変わっても、いつまでも残してほしい長所ですね。

いつまでもきれいな町で



下八ッ木 久松 洋子さん

町制施行されたとき、わたしは中学二年生でした。自転車通学した砂利道も、今ではきれいに舗装されています。せっかく道路が整備されても、投げ捨てられた空き缶が目につくようではだいたいです。一人ひとりのモラルで、いつまでもきれいな町であってほしいと思います。

交通面は鉄道誘致で



出丸下郷 伊丸 文男さん

今から二十年前は、わたしがちょうど就農したばかりのころです。機械化が一気に進み、農業が大きく転換した時期でした。当時と比べると、確かに道路は広がり、整備されました。でも、交通の便はまだまだですよ。鉄道を誘致できたらいいでしょね。

思いのこもるイベント

# 写真と年表で振り返る川島町の20年

川島町の歩み

年	月	川島町の歩み
昭和47年	11月	「川島村」から「川島町」へ町制施行
48年	4月	上伊草の地価公示価格上昇率が二年連続日本一(一㎡一万六千五百円)
	7月	吹塚浄水場が給水を開始
	11月	総合運動場が完成
49年	12月	釘無橋が永久橋として開通
	1月	川越地区消防組合川越消防署川島分署を開設
50年	4月	消防団改組(六分団制)
	2月	川島町議会議員の選挙区が一町一区制に
	3月	川島工業団地(八幡)の造成に着手
	8月	荒川自転車道が完成(川島区域)
51年	2月	荒川右岸流域下水道建設事業に着手
	10月	上大屋敷に助産所を開設
52年	1月	スポーツ都市宣言
	8月	国道二五四号バイパスの建設に着手
53年	3月	川島町教育史(戦前編)を刊行
	12月	天神橋が永久橋として開通
54年	3月	中小新校舎が完成(町内小中学校校舎の鉄筋化がすべて完了)
	4月	清掃センターが完成、ゴミの収集処理を開始
55年	2月	早俣橋が永久橋として開通
56年	3月	道場橋が永久橋として開通
	4月	八幡団地の分譲開始
	6月	町民体育館とコミュニティセンターが完成
	10月	川島排水機場が完成
57年	3月	第二次川島町総合振興計画を策定
	7月	県営大里・比企広域農道が開通
58年	4月	川島幼稚園で二年保育がスタート
	8月	総合運動場に夜間照明を設置
59年	5月	梅ノ木・古凍揚水機場が運転開始
	11月	合併三十周年(町民憲章、町の木、町の花、町の鳥を制定)
60年	4月	保健センターがオープン
61年	3月	町立図書館がオープン
62年	5月	国道二五四号バイパスが全線開通
63年	5月	広域福祉会館がオープン
	3月	武道館が完成
	3月	川島町総合振興計画を策定
	3月	公共下水道が一部使用開始
	3月	カントリーエレベーターが完成
	8月	八幡付近で竜巻が発生し、吹塚新田、南戸守を中心に大きな被害をもたらす
	4月	防災行政無線放送開始
平成元年	5月	やすらぎの郷がオープン
	7月	福祉バスがスタート
	11月	「生涯学習を進める町民大会」を開催、生涯学習のまちづくりが本格化
	7月	圏央道インターシティブランを策定
	3月	川島町教育史(戦後編)刊行
	8月	学校給食センター完成(改築)
	4月	西中学校の建設工事に着手
	11月	町制施行二十周年



昭和63年8月10日、竜巻が発生し、吹塚新田、南戸守を中心に大きな被害。



昭和56年4月、八幡団地の分譲が開始されました。(写真は、モデルルームの公開を兼ねた住宅祭の様子)



平成元年5月、老人福祉センターにデイ・サービスセンターを併設した県内初の施設としてやすらぎの郷がオープンしました。



昭和58年8月、総合運動場に夜間照明を設置、野球やソフトボールもナイターで行えるようになりました。



平成3年8月、学校給食センターが完成、従来の施設より機能が大幅に向上しました。



昭和52年1月、スポーツを通じて健康で住みよい町をつくろうと、スポーツ都市を宣言しました。



昭和47年11月3日、川島町としての歴史が始まった日です。



国道254号バイパス建設工事。(落合橋上空から)



昭和49年1月、川越地区消防組合川島分署が開設されました。

# 写真の部



特選「夏まつり」(角泉)  
上伊草 掛川次郎



入選「こらー・めー」(白井沼)  
牛ヶ谷戸 黒沼梅雄



入選「仲よし」(平沼)  
平沼 小久保 政男



推薦「窓越しに望む」(遠山記念館)  
平沼 小久保 哲朗



特選「蔵造り」(上伊草)  
平沼 沢田 きく子



入選「朝の田廻り」(出丸)  
中山 馬橋 和雄

# 町の自然や文化を再発見

## 町制施行20周年記念

### 第4回 ふるさとかわじま再発見コンテスト

かわじまの自然や文化を、写真・絵画・俳句を通して紹介していただく「ふるさとかわじま再発見コンテスト」がこのほど行われました。出品されたどの作品も、ふるさとの風景や生活のみごとに表現し、今まで見過ごしていた町のすばらしい一面を発見することができました。受賞者のインタビューと入選作品を紹介します。



参観者もふるさとを再発見



コンテスト表彰式

この写真は、教育委員会の写真教室に参加した際、遠山記念館で行われた撮影会で撮ったものです。撮影会では、教室で学んだ基本を心がけながら撮影していましたが、たまたま、座敷

## 写真の部



平沼 小久保哲朗さん

町の姿を撮り続けたい  
受賞者  
インタビュー

わたしたちのお父さん、そのまたお父さんにあたる人たちに尋ねても、運動場の真ん中であつたという伊草小学校

## 絵画の部



北園部 石田 堯男さん

松の姿に心引かれ  
この受賞を契機に、時代の流れとともに変わっていく町の表情を、写真として残し続けたいと思います。

## 俳句の部



白井沼 田島冨城子さん

七月終わりのころのある霧の朝、土手沿いに出丸に向かっている。霧の中につないでいる飛行船があたかも雲の中に浮いているように見え、現在の川島の一つの風景として詠んでみました。  
俳句を本格的に始めて三十年くらいになりますが、観察を通して自然とのつきあいが深くなり、親しみも増すような気がします。これからは生涯学習の一つとして、長く楽しんでいこうと思っています。

現在の町の風景として  
校長先生の許可を得て上げらせてもらったことは、言うまでもありません。

# 秋の叙勲

平成4年秋の叙勲で、持木俊雄・矢内敏の両氏が受章の栄に浴されました。

受章内容は次のとおりです。



持木 俊雄氏

釘無二一五―

## 勲五等双光旭日章

氏は、昭和二十三年に旧三保谷村の収入役に奉職されて以来、合併後は、税務課長・総務課長などを歴任、昭和四十二年からは助役として村政の運営に尽力されました。さらに、昭和四十九年十二月には町長に就任され、三十二年にわたり町政発展の礎を築かれるなど、長年にわたり地方自治の育成発展に多大な功績を残されています。



矢内 敏氏

白井沼一〇三二

## 勲五等瑞宝章

氏は、昭和二十四年十一月に司法保護委員(後の保護司)に委嘱されて以来、通算四十二年余の長きにわたって更生保護事業に尽力されてきました。この間、数多くの保護観察対象者を熱心に指導し、更生に導くとともに、犯罪予防などにも広く貢献され、地域社会の健全な進展に多大な功績を残されています。

# 俳句の部

藤村の  
愛でし落合  
投網うつ

特選 (落合橋付近)  
下 猪 猪 鼻 秋 生

願掛けし  
絵馬の高鳴り  
青嵐

入選 (潮音寺)  
中 山 吉 田 き い

古代蓮  
開く時間を  
約束す

入選 (遠山記念館)  
平 沼 松 本 ハ ル

霧に浮く  
花野に繋ぐ  
飛行船

推薦 (ホンダエアポート)  
白井沼 田島冴城子

比企一族  
奥津城暗し  
沙羅の花

特選 (金剛寺)  
中 山 吉 田 初 音

道祖神  
邪鬼を踏まへて  
ねこじやらし

入選 (八幡神社前道祖神)  
吹 塚 吉 川 と よ

# 絵画の部



特選「越辺川」(伊草)  
平 沼 松 本 泰 明



入選「金乗院門前」(上伊草)  
白井沼 矢内清園



入選「モトクロス」(出丸堤外)  
紫 竹 鈴 木 貞 子



推薦「心のオアシス」(伊草小)  
北園部 石田堯男



特選「補植」(中山)  
中山 馬橋和雄



入選「大修理が進行した広徳寺」(表)  
白井沼 田島藤重

# 《図書館だより》

## ● 催物案内 ●

### ＜名作映画会＞

とき 12月12日(土) 午後6時から7時40分まで  
 ところ 町立図書館視聴覚室  
 内容 「ぼくに涙はにわかない」「いとこ同士」  
 対象 小学生から一般

### ＜クリスマスおはなし会＞

とき 12月20日(日) 午後1時から2時45分まで  
 ところ コミュニティセンター2階大会議室  
 内容 コアラの会による人形劇「しっぽをなくしたきつね」、紙芝居ほか  
 定員 100人(12月2日から図書館で整理券を配布します。なお、プレゼント代として100円必要です。)

### ＜古典文学講座＞

とき 12月19日(土) 午後1時30分から3時30分まで  
 ところ 町立図書館視聴覚室  
 内容 「奥の細道」前後 第7回

### 12月の移動図書館巡回日

とき	と	こ	ろ
2日(水)・15日(火)	マルキスター (12:50-13:20)	久保集会所 (13:40-14:10) 伊草小 (14:30-15:30)	
3日(木)・17日(木)	八幡団地集会所 (13:00-14:00)	中山小 (14:30-15:30)	
8日(火)・22日(火)	角集落センター (12:50-13:20)	馬場集落センター (13:40-14:10) 出丸小 (14:30-15:30)	
10日(木)・24日(木)	長楽集落センター (12:50-13:20)	芝沼集会所 (13:40-14:10) 小見野小 (14:30-15:30)	

### 図書館カレンダー<12月>

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

**図書館利用案内**  
 町立図書館の開館時間は、午前10時30分から午後五時30分まで。土・日曜日は、午前10時から午後五時までです。お問い合わせは、町立図書館(☎九七〇三〇)へ。  
 (●印は休館日)



アメリカ・カナダの教育事情を視察する機会に恵まれ、貴重な体験をさせていただきました。「百聞は一見にしかず」のことわざのように、毎日が新



小見野小学校 蓮見重人教諭

わたしと習学

## 海外教育事情を視察して

鮮やかな驚きと感動の日々でした。カナダの雄大な自然と広々とした大地、そして、そこに住む人々の暖かい心に触れるにつれ、いつしか旅の疲れも癒える気がしました。アメリカではとりわけ歴史の縮図(開拓)現在に至るまで)を見た感じがし、また、底抜に明るい国民性には心和む日を送ることができました。そんな中で、教育事情視察

で特に感じたことは、今日的課題である個性を生かした教育、コンピュータを取り入れた学習、多岐にわたる選択制の学習など、実際をつぶさに見ることができたことです。明るく生き生きとした子どもたちの笑顔、そして、自分の仕事に自信を持ち、熱心に取り組む教師の姿等には学ぶことが多かったように思います。これから育ち行く子どもたちが、広い視野に立ち、さらに伸びていけるようその一助として、研修で得た糧を今後生かしていきたいと思えます。

## 国際交流座談会

町では、コミュニティカレッジの特別企画として「国際交流座談会」を開催します。海外から日本に來られた方がたの意見を伺い、国際化について考えてみませんか。  
 とき 十二月五日(土) 午後一時三十分から  
 ところ 広域福祉会館研修室  
 講師 東京国際大学助教・遠藤克弥先生  
 参加者 アメリカ・韓国・ブラジル・フランス国籍の五人の外国人

## 少年スキー教室

対象 小学校四・五・六年生  
 とき 平成五年一月五日(火)・六日(水)  
 ところ 上越方面  
 参加費 一万三千元  
 定員 四十五人  
 申込み 十二月七日(月)午前九時から受け付け 住所・氏名・年齢を明記のうえ、参加費を添えて直接社会教育課へ(電話申し込み不可) いずれも詳しくは、教育委員会社会教育課(☎九七一六一一)へ。

出合い  
ふれ合い  
学び合い

# 生涯学習 コーナー

## 比企郡民体育大会秋季大会

### レクリエーションの部で総合優勝



レクの部の総合優勝に貢献した綱引き

第二十六回比企郡民体育大会の秋季大会が、十月二十五日に総合グラウンドで開催されました。この秋季大会では、陸上の部十五種目とレクリエーションの部八種目が行われ、郡内八町村から参加した一千二百人の選手が熱戦を展開しました。川島町からは、各種目に百三十人の選手が参加、レクリエーションの部で総合優勝、陸上の部で総合三位とすばらしい成績を収め、川島町を舞台に開催された今年の郡民体育大会を締めくくりました。主な結果は次のとおりです。(敬称略)

### 陸上の部

六十歳女子 七位：島田夕有(八秒九八) 六十歳四十歳以上 五位：新井貫一(七秒八三) 六十歳五十歳以上 三位：福島博(七秒九九)  
 百歳男子一般 三位：西川順二(十一秒二四) 六位：松本尚人(十一秒五四) 百歳三十歳以上 六位：片岡孔一(十一秒九九) 七位：利根川哲夫(十二秒〇八) 二百歳 三位：矢部克己(二十三秒八八) 六位：西村政徳(二十六秒九〇) 走り幅跳び 二位：伊藤彰洋(五尺九二) 六位：宮崎浩靖(五尺四九) ハンドボール投げ 二位：西村登久子(二十五尺六九) 砲丸投げ 五位：蓬萊茂樹(十四尺一五) 七位：小久保義人(十三尺八二) 四百歳リレー三十歳以上 二位：片岡孔一・利根川哲夫・尾田龍三・安田浩(四十九秒五四) 四百歳男女混合リレー 三位：



優勝を飾った800mリレー

### レクリエーションの部

長縄跳び 二位：八ッ保選抜チーム(七十五回) ゲートボール競争B 二位：三保谷老人会(十一打) むかで競争女子 二位：大屋敷選抜チーム(二十一秒六七) むかで競争男子三十歳以上 二位：出丸消防団チーム(十七秒八三) 紅白玉入れ 三位：中山選抜チーム(二十二個) 綱引き 二位：川島選抜チーム

# まちの話題

いつまでもお元気で  
敬老会



町敬老会が10月24日から29日までの6日間、70歳以上のお年寄り1,900人を地区別に招待して、やすらぎの郷で行われました。  
お年寄りの皆さんは、歌手や日赤奉仕団によるアトラクションを楽しんだり、久しぶりに会った旧友となつかしそうに話をしたりと、会場は大いに盛り上がっていました。

身近な情報をお寄せください。

秘書広報係 ☎97-1811(内13)

スポーツを通して、心身障害者の社会参加と福祉の向上を図ろうと11月1日、第12回心身障害者スポーツ大会が町民体育館で行われました。

大会には、選手やボランティアなど約400人が参加。車いすを使ったパン食い競争や玉入れなどの競技に、楽しい交流の一日を過ごしました。

## スポーツ大会で 楽しい交流の一日

### 島町心身障害者スポーツ



コミュニティセンターで  
スリーデーマーチ



比企丘陵の秋の風物詩、第15回日本スリーデーマーチが、11月1日から3日まで開催されました。

当町も、初日の50キロコースに含まれています。休憩所になったコミュニティセンターには、早朝から続々と参加者が訪れ、お茶やコーヒー、ゆで卵のサービスに大喜びでした。

## 大空へ夢をのせて



## スカイ・レジャー・ジャパン'92



グライダーや自作航空機、スカイダイビングなどのスカイレジャーを一堂に会して、十月三十一日と十一月一日の二日間、スカイ・レジャー・ジャパン'92が本田エアポートで行われました。  
会場では、子どもたち対象の航空教室や各種航空機によるエアショー、熱気球の体験飛行などが行われ、訪れた人たちの空への夢を大いに膨らませてくれました。

## 町民芸



### 俳壇

選者 猪鼻秋生  
梅擬・残る虫

特選

梅擬活ければ床にこぼれけり  
何処よりか声重なりてすがる虫

戸守 村山貴美子  
出丸下郷 長沢由美子

人選

梅もどき活けて静かな湯治宿  
亡き夫の分まで生きよと残る虫  
残る虫ときれとぎれとなりけり  
納屋隅に今宵も鳴ける残る虫  
湯の欲しき厨仕事や残る虫  
梅もどき日向に遊ぶ矮鶏のみて  
梅もどき活けてはなやぐ老いの部屋  
残る虫つまづき鳴ける地藏堂  
変化なき庭いろどりて梅擬  
紅らみて牛舎華やぐ梅擬

中直 馬橋三千代  
中山 吉田 さい  
谷中 松本つや子  
吉原 村田とみ子  
吹塚 吉川 とよ  
平沼 松本 ハル  
上伊草 飯島 ゆき  
伊草 森谷 弘  
吹塚 原 はる江

選者評

特選は、三句とも身辺にありふれたことをさりげなく、飾りたてず素直に、しかも的確に詠まれていて見事です。解説の必要はありません。

俳句の場合は、非常に短い詩形ですので、一句の中にいろいろな物を取り合わせるとすっきり仕上がらなくなるので、注意する必要があります。常に歳時記を身近に置いて、よく読み返すことがたいせつです。今回投句された三十四人のうち、三分の一を越す十二人のかたが季重ねでした。「小鳥」または「小鳥来る」は、梅擬とともに秋の季語ですので注意してください。  
自句 梅もどき近くて遠き隣かな  
今生のかぎりをつくし残る虫

## 応募要領

季題 12月号……冬めく・冬の雁 田島冨城子 1月号……師走・茶の花 永井 耕雲  
締切 前月末日(厳守)までに、住所・氏名(俳名の場合は本名も記入)・電話番号を明記して1人3句以内で秘書広報係まで



# くらしの情報

お問い合わせは、役場の各担当課へ  
☎九七七一八二一

## お知らせ

### 人権週間

12月4日～10日  
世界人権宣言が、昭和二十三年十二月十日に国連で採択されたのを記念して、毎年十二月十日を人権デーと定めています。

- 法務省及び全国人権擁護委員連合会では、十二月四日から十日までを人権週間として広く国民に呼びかけ、人権意識の高揚を図っています。
- 国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう
- いじめ・体罰の根を絶とう
- 部落差別をなくそう
- 女性の地位を高めよう
- 障害者の完全参加と平等を

### 人権・身の上相談

町では、次のとおり人権・身の上相談所を開設します。お気軽にご相談ください。

- とき 十二月十一日(金) 午前十時から午後三時まで
- ところ 中央公民館
- 相談員 小峯三郎・遠藤恭夫・北和己・浦和地方法務局職員
- 詳しくは、住民課(☎内二四)へ。

### 登記申請等はお早めに

法務局では、年末における登記事務を十二月二十八日(月)まで取り扱いますが、各登記所では、年末には登記申請が急増し、相当の混雑が予想されます。

## 相談コーナー

お気軽にご相談ください。

### 行政法律相談

行政機関などの業務に関する苦情、法律的な悩みごとの相談に応じます。

とき 12月10日(木) 午前10時から午後3時まで  
ところ 中央公民館  
相談員 弁護士、行政相談員

### 心配ごと・結婚相談

日常の心配ごとや結婚についての相談に応じます。

とき 12月10日(木)・25日(金) 午前9時から正午まで  
ところ やすらぎの郷  
相談員 民生・児童委員、結婚相談員

### 教育相談

子どものしつけ、学校ざらいなどの相談に応じます。

とき 12月18日(金) 午後3時30分から5時まで  
ところ 教育相談室(コミュニティセンター内)  
相談員 教育相談員  
※電話での相談も随時受け付けます。(☎97-1685)

## 催し

### 町駅伝大会

参加しませんか  
教育委員会では、第八回町駅伝大会を次のとおり行います。奮ってご参加ください。  
とき 十二月二十日(日) 午前九時出発  
コース コミュニティセンター周辺の周回コース

### 12月の納税等

- 国民健康保険税……第5期
  - 固定資産税……第3期
  - 国民年金保険料……12月分
  - 下水道事業受益者負担金……第3期
  - 川島北部・南部かんがい排水事業費…第3期
- 納期限までに納入してください。

### 10月の火災と救急の出動

=火災=		=救急=		
件数	損害額	交通事故	急患	その他
2件	5,252,000円	38件(16件)	13件	9件
		搬送人員 37人(17人)	12人	8人
平成4年1月～10月累計				
件数	8件	件数	393件(145件)	161件 87件
損害額	36,230,000円	搬送人員	396人(169人)	151人 76人

川越地区消防組合 川島町管内

## ひよんちメモ

### ミカンの皮の利用法

ミカンがとてもおいしい季節を迎えました。むいた皮を捨ててしまいかたも多いでしょうが、ちょっとした工夫で暮らしに利用できます。

ミカンの皮をカラカラになるまで天日に干し、布の袋に詰めてお風呂に入れます。皮に含まれるビタミンCなどの働きで、毛細血管が刺激され、ポカポカと温まり湯冷めしません。

このほか、天日に干していない皮を布の袋に詰めてお風呂に入れると、皮の表面にたくさんある小さな粒々(油胞)がお湯に溶けて、肌をツルツルにする効果もあります。

### エイズ講演会

エイズのまん延は世界的に深刻な状況にあり、日本でも患者の急増が懸念されています。

比企医師会及び比企地域保健医療協議会では、エイズについて多くの人たちに考えていただくようと、次のとおりエイズ講演会を開催します。

とき 十二月十二日(土) 午後二時から三時三十分まで

ところ 東松山文化会館ホール

テーマ 「エイズの正しい理解と対応」

講師 エイズ情報センター 医学博士 桜井賢樹先生

対象 中学生以上

入場料 無料

### 参加方法

一チーム六人編成で、一般・一般二百歳(合計年齢二百歳以上で学生は除く)・中学生男女・小学生男女のいずれか

申込み 十二月十日(木)までに、社会教育課または各地区公民館長へ

詳しくは、社会教育課(☎九七七一六一)へ。

### スキー教室

詳しくは、東松山保健所(☎0493-3310280)へ。

中山公民館では、次のとおりスキー教室を開催します。初心者から上級者まで、たくさんの方の参加をお待ちしています。

とき 平成五年一月十七日(日)・十八日(月)

ところ 岩原スキー場(新潟県湯沢町)

参加費 一万七千円(バス・宿泊費)

定員 五十人(定員になりしだい締め切り)

申込み 十二月十五日(火)までに、住所・氏名・年齢を明記のうえ参加費を添えて、中山スキークラブ会長 飯島伸治さん(☎九七七一〇二二)へ。

## 募集

### 県政モニター募集

平成五年度  
県では、アンケートや会議などを通して、県政に対する皆さんの意見や提案をお聴きするため、次のとおりモニターを募集します。

募集人員 二百人

任期 平成五年四月から平成六年三月まで

仕事の内容 アンケート調査(年五回)、会議(全体会議・地区別会議各一回)、施設見学会、随時提案など

謝礼金 年間九千円程度

応募資格 県内に居住する満二十歳(平成五年四月一日現在)以上のかた。ただし、

### 柔道スポーツ少年団 団員募集

柔道スポーツ少年団では、次のとおり団員を募集しています。柔道で心と体の健康づくりをしてみませんか。

対象 三年生以上の小学生男女

練習日 毎週日曜日 午前十時から正午まで

ところ 武道館

申し込み・詳しいことは、菅原浩さん(☎九七七一四四六一)へ。